

# いろいろの ひろば

Vol.  
**225**  
2017.3.25

■1面 前置胎盤の対策と  
その成果

■2面 こどもたちへのがん教育 ほか

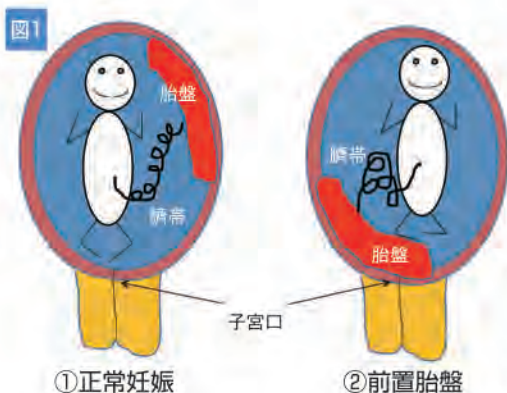
■3面 地域医療連携  
「やまの内科・  
胃腸内科クリニック」

■4面 認知症の方に合わせた対応  
市民公開講座

## 高槻病院産婦人科における 前置胎盤の対策とその成果

### ■前置胎盤とは

通常、胎盤は受精卵が着床した場所である子宮の体部(図1①)に付着します。前置胎盤とは、胎盤が何らかの原因で子宮の入り口(子宮口)の全部または一部を覆ってしまう状態です(図1②)。赤ちゃんの出口が胎盤で塞がれるので、お産は必ず帝王切開になります。この時に大出血を起こすことがあります。特に、胎盤が子宮の壁に食い込む場合(侵入胎盤)、事態は深刻です。2004年福島県で帝王切開手術を受けた妊婦さんが亡くなり、2006年に手術を担当した医師が逮捕されたこと(福島県大野病院事件)は、皆様ご記憶かと思いますが。この事件以降、前置胎盤の帝王切開に対して、日本中



様々な対策が検討されてきました。

### ■当院での対策

当院総合周産期母子医療センター長の小辻は、この対策として、後述の「U字縫合」と「子宮底部横切開法」を開発し、極めて優れた治療成績を世界に向け発表してきました。当センターでも2012年より、これらの方法に従来の「ターニケット法」を組み合わせる「ターニケット法・U字縫合・子宮底部横切開」を組み合わせた前置胎盤管理を行い、優れた成績を得ているのでご紹介します。

#### (1)ターニケット法

前置胎盤の帝王切開では、赤ちゃんが生まれた後、胎盤が子宮から剥がれる前に、子宮の下端をゴムのようなカテーテルで縛る方法です(図2)。これにより、骨盤の底から子宮内に流れ込む血液が一時的に遮断



されるので、胎盤を子宮から外しても、大出血することはありません。胎盤を外した後に、ターニケットを緩め、もしも出血するようなら再びターニケットを絞め、次に述べるU字縫合で止血します。

#### (2)U字縫合

胎盤剥離部のやや下で、子宮壁全体を糸で大きく結紮(止血など)のために血管などを縛って結ぶこと)する方法です。これにより、子宮下部へ流れこむ血液を持続的に遮断することができま

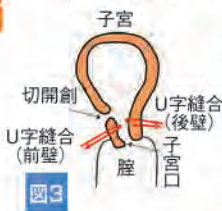
#### (3)この糸

は2〜3週間後に溶けてなくなり、心配ありません。

#### (3)子宮底部横切開

通常の帝王切開では、子宮の下部を切開し、赤ちゃんを娩出させます。しかしながら、前置胎盤での切開を行うと、胎盤を直接切り込むことになり、赤ちゃんが生まれる前に大出血となる危険があります(図4左)。

子宮底部横切開とは、胎盤から最も遠い場所、即ち子宮底部を切開し、赤ちゃんを娩出させる方法です(図4右)。この手術では、赤ちゃんの安全は100%保証されます。また、子宮の切開部からの出

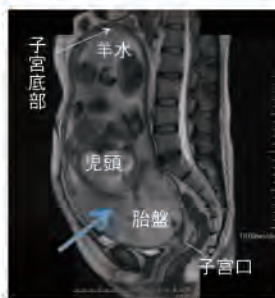


産婦人科 部長  
中後 聡

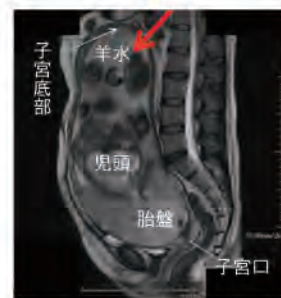
2面に続く



図4



通常帝切の切開部位(青線)



子宮底部横切開の切開部位(赤線)

血が圧倒的に少ないのでお母さんにも安全で、世界の産科学のバイブルである Williams Obstetrics の最新版で紹介されています。

### ■ターニケット法・U字縫合・子宮底部横切開を取り入れた成果

紹介した新方式による帝王切開を2012年7月に導入し、すでに82例の前置胎盤の妊婦さんに実施しました。この方法を導入する前と比べると、帝王切開時の出血量が著しく減少しました。特に、侵入胎盤があると、以前は出血量が7リットルを超え、生命にかかわる危険な大量出血にしばしば遭遇しましたが、新方式導入後はこのような大量出血を経験することは無くなりました。

前置胎盤の帝王切開術をより安全なものにするため私たちは学会発表や論文を通じて広く世界に周知するよう努めています。これからも、さらに工夫を重ね、技術を磨き、より優れた手術の模索に絶え間ない努力を続けます。

～地域の子どもたちへのがん教育に取り組みたい～

## 関西大学中等部の生徒さんと “がんといのち”について考えてみました

がん診療支援センター がん相談支援担当 ソーシャルワーカー 田口 真規子

去る2月7日 関西大学中等部3年生の「考える科」のいのちの学習の場をお借りして、がん診療支援センターの土師誠二センター長(副院長)が、お話をさせて頂きました。

まず、はじめに土師センター長が「いのちのお話～医師が伝えるがんといのち～」と題し、つくくみさんや小林麻央さんといった有名人の方の症例を交えながら、わかりやすくがんについての説明や話などをした後、小グループでディスカッションをしてもらいました。グループのサポートには、船田泰弘副院長と中村美保医長も加わり、時折質問を受けたりしながらディスカッションを見守り、その後グループごとに感じた事を発表してもらいました。発表の内容はとても感性豊かで、各



グループ様々な視点で論点を整理し、鋭く捉えている事に驚かされました。また、最後の質問では「おじいちゃんが余命宣告をうけたのだが、どのような基準で決めていますか?」「がんって治るんですか?」「日本人はがんになりやすいと聞きましたがなぜですか?」「がんの告知についてトラブルはないですか?」など、ドキッとするような質問が多く、指導しておられた学校の先生も驚いておられました。終了後も土師センター長のところに生徒が並び、様々な質問を重ねていました。想像していた“中学生”よりはるかに成長しているその姿に、船田副院長からは思わず「こんな子ども達がいてくれるなら、日本の将来は安泰ですね」といったコメントが聞かれたほどでした。

がんは今や国民の2人に1人が罹患する病気とされており、現在死亡原因の第一位の疾患でもあります。大阪府がん診療拠点病院として、次世代を担う子どもたちに、がんに対する正しい知識を伝え、健康に対する関心を持ってもらうこと、いのちが尊いものであると感じ、大切にすることを育むことを目的として、今後も継続していきたいと思えます。



INFORMATION

糖尿病公開講座

4/28(金) 15:00~16:00 『お薬について知ろう!!』 担当: 薬剤師

場所 愛仁会リハビリテーション病院8F 第3・4会議室



地域医療  
連携

開放型登録医紹介 vol.98

## やまの内科・胃腸内科クリニック

山野 剛 先生



# 地域に根付いた かかりつけドクターを目指して

**「開院の経緯」**  
平成9年に大阪医科大学を卒業し、幅広く内科疾患を診る力をつけたいと考え大阪医科大学の医局に入りました。3年間の初期研修を終了し、その後は主に大阪医科大学附属病院で血液疾患を中心に内科疾患の診療にあたってきました。この間は血



液悪性疾患を主に診ており、患者さんの死を看取ることも多く、全身管理はもとより全人的治療に取り組みが必要があると考える

ようになりました。振り返ればこの経験は私が医療をするにあたっての基礎になっていると思います。

平成18年から高槻市内の病院に勤務し、引き続き血液疾患の診療にあたることも、内科一般の診療にも携わりました。特に胃腸をはじめとする消化器疾患について内視鏡を中心とした検査、治療に取り組んで参りました。

医師となり20年が経とうとしていますが、今まで培った経験、技術などを生かして自分の力で医療を実践したい、また地域の方々の力になりたいと考え、開業に至りました。

**「クリニックの特徴」**  
当院の特徴はまず消化器内視鏡です。大腸カメラ・胃カメラをする際は体の苦痛や検査に対する不安を軽減し、安心して検査を受けて頂くために鎮静剤を使用しています。また、必要な方には日帰りのポリプ切除も行っています。大腸カ

メラに関しては、3部屋の個室を完備し他の患者さんの目を気にすることなく院内での腸管洗浄が可能であり、検査後はシャワー室でシャワーを浴びて、体もきれいにすっきりした状態で帰宅して頂く事ができます。また、血液疾患については貧血、あざ、内出血、鼻血など身近な病気の相談から、外来化学療法や赤血球輸血にも対応しています。

患者さんを診察する上で最も大切にしてているのは、患者さんの話をとことん聞くこと、患者さんと会話をすることです。何気ない会話の中から困っていること、心配していることがわかってくるので、患者さんが安心できるように、わかりやすい説明を心がけています。高血圧、糖尿病をはじめとする一般的な内科疾患の検査・診療・管理、消化器内視鏡検査・治療、血液疾患に対する検査・診療を受けて頂くことが出来ますので、かかりつけ医として、身近な病気から健康相談までどんなことでも気軽にご相談ください。

**「高槻病院への要望」**  
患者さんから「高槻病院にいきなりたい」という声があります。今後も診察の受け入れやオーブン検査等スムーズな対応と連携をお願いします。

山野先生、お忙しい中、快くインタビューをお受けいただきまして、ありがとうございます。お話を伺う中で、地域の方のために貢献したいという強い思いや、常に患者さんの立場にたって診療されていること、患者さんについて家族からの相談にも乗っておられるということから地域の患者さんや家族にとっても非常に心強い存在であると感じました。今後ともよりスムーズな医療連携の充実が図れるように努めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

(地域医療部  
田中 今西 中西 井阪)



## やまの内科・胃腸内科クリニック

〒569-0064 高槻市庄所町3番20号

TEL.072-668-7033

【診療内容】 内科、胃腸内科

【診療時間】 午前9時～12時、内視鏡検査(予約制)午後1時～4時  
午後5時～7時

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
内視鏡検査	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

休診日:  
木曜、土曜午後  
日曜、祝日





認定看護師に聞く

# 認知症の方に合わせた対応で、 安心できる環境にしましょう



認知症看護認定看護師 田中 さおり

## 認知症とは

認知症は進行性の脳の疾患によって記憶、思考などの脳の機能や日常生活動作などに障害が生じる病気です。我が国の認知症高齢者は2012年時点で約460万人であり、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症です。今後も患者数の増加が見込まれており、2025年には約700万人を超えると考えられています。

## では、認知症になると何もわからなくなってしまうのでしょうか？

決してそうではありません。相手の感情は理解できています。

ただ、自分の思いを言葉でうまく表現できなかったり、相手の言葉が速すぎたり、一度に多くの情報を理解することが難しいだけなのです。

## 認知症の方が理解でき、自分で意思決定できるような工夫をしましょう

私たちが、認知症の方に合わせる事が大切です。ゆっくりとしたスピードで、短い文章で目線を合わせながら話しかけましょう。答えることが難しい場合は「はい・

いいえ」で答えられるような質問にしましょう。

また、「私の名前、覚えてる？」は禁物です。答えられないとさらに混乱されますので、例えば「娘の〇〇よ。親戚の〇〇ちゃんも来たよ」と、こちらから「さりげなく」言うようにしましょう。

## 入院中「家に帰りたい」と頻回に訴えます。家族は面会に行かないほうがいいのでしょうか？

いいえ、家族の方にはできるだけ面会に来ていただくことで安心されます。

できれば、人が少なくなる夕食以降から就寝までに付き添っていただくと安心されて眠りやすくなります。そして、「次いつ面会に来られるのか」ということを大きな文字でメモやノートに書き記しておいてくださると本人が安心できるだけでなく、夜中に起きた際、そのメモを見て医療スタッフも本人に説明できますので、ぜひご協力をお願いします。ご家族や可愛がっていたペットの写真も安心されます。

認知症についての質問、相談などあればいつでも対応いたします。お気軽に相談ください。

市民公開講座  
参加無料

- 4/ 4(火) 16:00 ~ 17:00 **「白内障について」**(定員50名) 眼科部長 清水 一弘  
場所 愛仁会リハビリテーション病院8F 第2・3・4会議室
- 4/15(土) 15:30 ~ 17:00 **「狭心症について」**(定員30名) 循環器内科部長 安部 博昭  
場所 よみうり松坂屋高槻文化センター
- 5/18(木) 15:30 ~ 17:00 **「不整脈について」**(定員400名) 不整脈センター長 山城 荒平  
場所 高槻現代劇場 中ホール (予約不要・当日直接会場へお越し下さい)
- 5/20(土) 15:30 ~ 17:00 **「低侵襲手術について」**(定員30名) 消化器外科部長 川崎 健太郎  
場所 よみうり松坂屋高槻文化センター

※よみうり松坂屋高槻文化センターでの参加申込・お問い合わせは直接下記へお願いします  
よみうり松坂屋高槻文化センター 〒569-0804 高槻市紺屋町2-1 松坂屋高槻店6階 TEL.072-681-8218  
※高槻病院、高槻現代劇場での参加申込・お問い合わせは直接下記へお願いします  
高槻病院 地域医療部 地域医療連携 TEL.072-681-3801 (代表)9:00~16:00 FAX.072-681-3831 E-mail takakouza@ajk.takatsuki-hp.or.jp

社会医療法人 愛仁会 **高槻病院**

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医師等との信頼関係の下で、良質な安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断、治療、手術などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、療養の態様や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自身の健康状態に即する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断、治療、手術などに関して、理解できずまで質問する責務があります。
3. すべてが患者さまが自費で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病棟の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

- 愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
- しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
- しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号 ☎072-668-5000
- 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号
- 訪問看護ステーション愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1876
- ケアプランセンター愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1882
- ケアプランセンターケーアイ ..... ☎072-687-2536
- ケアプランセンター愛仁会富田 ..... ☎072-692-2941
- しんあいケアプランセンター ..... ☎072-680-3000
- ヘルパーステーション愛仁会高槻 ..... ☎072-686-1875
- ヘルパーステーション愛仁会富田 ..... ☎072-692-2941
- 介護老人保健施設ケーアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
- 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号 ☎072-680-3000
- 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
- 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031